

平成29年度 平塚湘風高校 不祥事ゼロプログラム実施結果

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	教育公務員として公務に携わることを自覚し、法令を遵守し、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとる。	12月7日、「教職員の服務について」をテーマに総合教育センターの講師派遣による不祥事防止研修会を実施し、教職員の注意喚起を図った。 適切な県民応対を具体的に知ることで、教育公務員として公務に携わることを自覚し、法令を遵守し、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとることができた。
②わいせつ・セクハラ行為の防止	セクハラ・わいせつ行為等の発生を未然に防止する。	9月28日、「Stop!ザ・セクシャルハラスメント」をテーマに事故防止会議を実施し、教職員の注意喚起を図った。 職員相互の良好なコミュニケーションにより、セクハラ・わいせつ行為等の発生を未然に防止することができた。
③体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重した指導を行うとともに、生徒に対する体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	11月16日、「体罰防止・人権に配慮した指導」をテーマに事故防止会議を実施し、教職員の注意喚起を図った。 さまざまな局面での事例を踏まえ、職員同士が共通認識を高めることで、生徒の人権を尊重した指導を行うとともに、生徒に対する体罰・不適切指導の発生を未然に防止することができた。
④入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	教育公務員として適正に業務を執行し、ミスのない書類の作成・発行を行う。	7月21日、「成績処理及び進路指導に関する事故防止」をテーマに事故防止会議を実施し、教職員の注意喚起を図った。 各職員が教育公務員として適正に業務を執行し、年間を通してミスのない書類の作成・発行を行った。
⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流出・漏洩を未然に防止し、個人情報の適正な管理・取扱いを厳守する。	11月16日、「個人情報の取扱い・情報セキュリティ」をテーマに事故防止会議を実施し、教職員の注意喚起を図った。 各職員が個人情報の流出・漏洩を未然に防止し、適正な管理・取扱いを行った。
⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生を未然に防止するとともに、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	12月21日、「交通事故防止、交通法規の遵守」をテーマに事故防止会議を実施し、教職員の注意喚起を図った。 各職員が認識を高めることで交通事故の発生を未然に防止するとともに、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止することができた。
⑦業務執行体制の適正化（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	教育公務員として適正に業務を執行し、県民の要請・期待に応える。	6月21日、「適正な業務体制」をテーマに、2月9日、「円滑な業務進行のための情報共有」をテーマに事故防止会議を実施し、教職員の注意喚起を図った。 各職員が教育公務員として適正に業務を執行し、県民の要請・期待に応えることができた。

⑧会計事務等の適正執行	公費・私費会計の徴収・執行及び職場内の現金管理等に関する不祥事を、未然に防止する。	5月12日、事故防止会議において事務長より「私費会計事務処理」について説明を行った。 各職員の徹底した現金管理により、未然に不祥事を防止することができた。
⑨入学者選抜業務における事故防止	志願者データ・答案等の処理に係る業務を適正に行う。	1月25日、「入学者選抜」をテーマに事故防止会議を実施し、教職員の注意喚起を図った。 各職員が最重要課題として捉え、志願者データ・答案等の処理に係る業務を適正に行った。
⑩教員経験の浅い職員（採用後5年以内）による不祥事防止	社会人・公務員としての自覚や不祥事を起こさない意識・行動の醸成、服務規律の確保を行う。	日常的に管理職や同僚から教員経験の浅い職員に声かけを励行した。また、相談体制を整備するなどしてコミュニケーションをとりやすい環境を整えた。 教員経験の浅い職員が、社会人・公務員としての自覚や不祥事を起こさない意識・行動の醸成、服務規律の確保を行った。